

◆ 品川都税事務所長賞 ◆

「巡り巡る税金」

品川区立荏原平塚学園 第九学年 小家 奏

今年七月二十九日、コロナ禍が明け、四年ぶりとなる隅田川花火大会が開催された。百三万もの人々が訪れ、大いに盛り上がった。私もその一人として花火を見に行ったのだが、大迫力の花火がたくさん打ち上げられていて、大会の規模の大きさに圧倒された。

これだけ大規模な花火大会であれば、相当な費用がかかっているはずだ。気になった私は、インターネットで調べてみることにした。すると、大会には一億五千万円もの費用がかかっていることがわかった。そして、そのうちの一億円近くが都や近隣の区が出す税金で賄われているようだ。私は、もっと民間企業からのスポンサー料が大部分を占めていると思っていたので驚いた。

もちろんこの税金は、東京都やその中の対象の区に住む人達から集めた税金である。その税金の力で花火大会が開催され、私達を楽しませてくれた。都民・区民から都・区へ、都・区から都民・区民へ。この流れを見た時私は、私達が払った税金は巡り巡って私達の元に帰ってくるのだな、と思った。さらに、この税金の流れは都から国へ、もっと広がっていく。花火大会に訪れた人たちが開催地周辺で買い物などをすることで、消費税などの税金が国に集まり、その税金を使って私達のためのことをしてくれる。税金は形を変え、国民の豊かな生活の支えとなっているのだ。

もし税金をちゃんと払わない人が現れ、そのような人が増えていったら、この税金の流れが滞ってしまう。すると、地域や国全体の発展までも滞ってしまう。発展が滞ると、私達の生活の豊かさも向上しなくなる。こうして悪循環に陥ると、私達の安全な日常は戻らなくなる。いくら税金を払いたくなくても、払わなくては結局良くないことが起こる。つまり、悪いことをしたら、そのツケが回ってくるということだ。これが、税金が巡り巡っていることの証だ。

私は今まで、なぜ税金を払わなくてはいけないのか、具体的にわかっていなかった。なんとなく、払わなきゃいけないものだから払う、という程度の認識だった。しかし今回税金のことについて調べてみて、私達自身が充実した生活を送るために払うものなんだと考えを深めることができた。税金は、形を変えて巡り巡って、私達の元へ帰ってくる。今回得た知識を忘れず、将来よき納税者になりたいと思う。また、今後も税金のことについて知識を増やしていきたい。